

# 臨床研修修了にあたって

## 臨床研修修了にあたり

臨床研修歯科医 久保清香

ふと、研修医としての臨床研修プログラムを選択したときのことを思い出しました。新潟大学に残って研修をするのか、他大学や開業医で研修をするのか。今考えると、新潟大学 A コースを研修の場として選択したことを正しい選択だったと噛みしめながらこの原稿を執筆しています。

学生時代の臨床実習と同じ慣れた診療室、いい意味で接することに慣れた指導医の先生方のもとで研修を行うことに対して、学生時代の延長で終わってしまうのではないかと、という不安もなかったわけではありませんでした。しかしその心配は杞憂に終わりました。やはり歯科医師免許を取得し、1日でも早く一人前になりたいという責任感が自分なりに芽生え、学生時代とは比べものにならないくらい、患者様に最善の治療をするためにはどうしたらいいのかを考え、勉強し、手を動かすようになりました。また、それに対し指導医の先生方は的確な指導をしてくださいました。学生時代からお世話になっていることもあり、気兼ねなく、わからないことやアドバイスが欲しいことなど、相談しやすかったのだと思います。

また自分の診療を客観的に評価し、それに対してフィードバックをしてもらえるポートフォリオの存在も大きかったと思います。1年分蓄積されたあのポートフォリオは今後の歯科医師人生の1年目に得た何物にも代え難い教科書になったと言っても過言ではないでしょう。

もちろん他大学や他の協力施設で研修を行っていた同期の友人の話を聞くと、1日に触れあう患者様の数や、大学ではあまり診られない自費診療のケースなど、自分がこの1年で経験できなかった話も聞き、多少焦りもありました。しかし私はこの A コースで、多少時間はかかったかもしれま



せんが、一人一人の患者様とじっくりと見つめ合い、歯科治療はもちろん、患者様とのコミュニケーションや、こんな1年目の歯科研修医の治療でも受け入れてくれ、笑顔で来院してくださる患者様への感謝の気持ちを学んだという自信を得ました。1年という短い期間ではありましたが、これだけのことが学べたのは私の今後の歯科医師人生にとってとても尊い経験になったと思います。

最後になりますが、新潟は海と山に囲まれて自然にあふれていて、なのに程よく都会で、この上なく住みやすいところでした。天気以外は、忙しく時間が流れる東京出身の私にとって、この新潟という地は本当に穏やかで、知らぬ間に第二のふるさととなっていました。来年度からは地元に戻りますが、地域に密着した歯科医師としてここ新潟大学で学んだ知識と経験を生かして日々研鑽を積んで行きたいと思っています。そして、またいつか、ポップ焼きを食べに帰ってきたいと思っています。学生時代を含め5年間、本当にお世話になりました。

## 臨床研修修了にあたり

臨床研修歯科医 隅田賢正

現在、2014年1月某日。この原稿を書くよう依頼を受けたのは2013年12月中頃ですから実質1ヶ月ほど放置してしまっていたことになります。さらに最悪なことに、この原稿の締め切りが2日前に過ぎてしまっているということです。歯周科小松先生、大変申し訳ございません。反省。

非常に恥ずかしい文頭になってしまいましたが、今回“臨床研修修了にあたり”という原稿を書く機会をいただきましたので、今年一年間を振り返ってみたいと思います。

臨床研修も残すところあと3ヶ月を切ってしまいました。これまでの研修を振り返ってみると本当にあっという間で、研修初日に藤井教授がおっしゃっていた『あっという間に夏が来て、あっという間にジングルベルが聞こえて、正月が来て、研修が終わります。』という言葉は今になってヒシヒシと実感しています。

4月の研修開始は国家試験になんとか通り、フラフラと遊びほうけていたらいつの間にか来てしまいました。私は本学出身でなく、臨床実習終了から1年間ほど患者様に接する機会というのはありませんでした。ですから、登院式の時は“本当に自分が患者様に治療をできるのか？”といったことで頭がいっぱいでした。登院式後に研修医の中で割り振られる係などなんでもいい！と思っており、副幹事という係になってしまったばかりに今この原稿を書いている次第です。(今年は副幹事が原稿を依頼されたそうです。ちなみに副幹事の仕事としては他にあまりないのでお得な係だったと思います。新大Aコースの方にオススメします。)

登院式の時の不安はまだ消えておらず、未だに患者様に対して満足いく治療は行えない時があるように思います。そのため、日々指導医の先生方



や先輩方の手を煩わせてしまっているかもしれません。いえ、きっとそうなんです。ですが、先生方はその度に口頭、ポートフォリオやレポートを通してこんな出来の悪い私に指導してくださいます。(実はレポートについても締め切りを守れない時がありました。反省。)ですが、その指導によって毎回新たな発見があり、歯科治療は教科書通りでは足りないことが多いと実感させられ、毎日が勉強の日々です。

研修開始時はこの一年間で何とか歯科医師としての基礎を築けるように頑張っていますが、今となって思うことは到底時間が足りないということです。この一年弱ではまだまだ技術的にも知識的にも一人前の歯科医には到達していないと感じています。ですが、この一年間で学んだことを忘れず今後も精進して行きたいと思います。

最後に、こんな私でも最後まで面倒見ていただいた総合診療部の先生方、そして何より最後まで一緒に仕事も遊びも楽しんだ同期の皆さんに感謝します。外部からきたこんな私を受け入れてくれて本当にありがとう！ みんなと同期で良かった！

さらに最後に来年以降は締め切りの守れる男になる事をここに誓います！